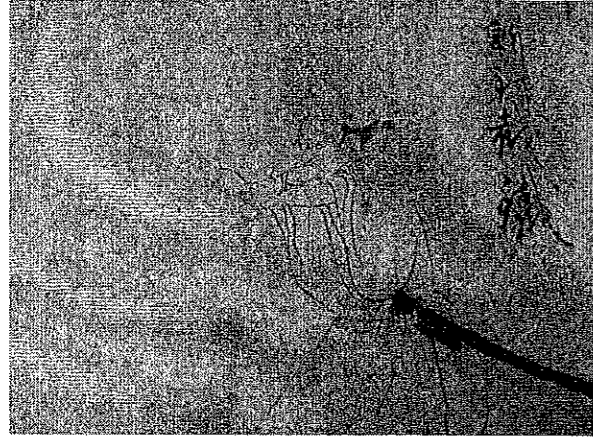


分室コレクション展

「柳生もの」の系譜—時代小説へのいざない
10月29日(土) ~ 2月12日(日)



『新陰流画目録』より 元和3(1617)年の写本

「柳生もの」の系譜—時代小説へのいざない
10月29日(土) ~ 2月12日(日)

柳生家は、奈良県に古くから領地を有し、柳生新陰流をもって、徳川家康から綱吉まで代々の將軍の兵法指南をつとめたほか、「尾張柳生」の血統は、尾張藩の兵法指南をつとめ、多くの剣豪を輩出しました。

柳生宗厳(石舟斎)、宗矩(但馬守)、三厳(十兵衛)、宗冬、宗厳(如雲斎)、厳包(連也斎)ら、

時代小説ファンでなくても、「柳生一族の…」とか「柳生十兵衛の…」といったタイトルの映画や小説、ドラマを聞いたことのある方は多いのではないのでしょうか。剣の達人?ニンジャ?耳にはするけれど、よく知らないというのが一般的かと思

います。
柳生家は、奈良県に古くから領地を有し、柳生新陰流をもって、徳川家康から綱吉まで代々の將軍の兵法指南をつとめたほか、「尾張柳生」の血統は、尾張藩の兵法指南をつとめ、多くの剣豪を輩出しました。

みな揺れ動く時代のなかで、剣の道とは何かを問い続けた、個性あふれる実在の剣豪たちです。彼らの周辺には、僧・沢庵や、戦国大名、幕府の重鎮、他流の剣豪が同時代人として生き、時代が戦国から江戸幕府の安定へと大きく変わる時代だったこともあり、さまざまなエピソードに彩られています。

本展では、古い講談などから脱皮した新しい「柳生もの」小説を創出した五味康祐の遺品資料を中心に、現代までさまざまなバリエーションで語られ続けている「柳生もの」の世界をご紹介します。その魅力とは何なのかをさぐります。禅や能の精神と相通じる心の深さを求め、相手を倒すための剣ではなく、相手も自分も生きる「活人剣」を創出した柳生新陰流をご紹介します。

ほんとうの強さとは何なのでしょう。剣豪小説の魅力とは何なのでしょう。一緒に考えてみませんか。

関連イベントとして、柳生家墓所のある練馬・広徳寺の特別拝観、柳生家ゆかりの刀剣展示、柳生新陰流第二十二世宗家をお迎えしての講演と演武の会、学芸員による展示解説があります。くわしくはお問合せください。



10・11月のイベント情報

日付	時間	イベント名	場所	講師等	定員	対象	費用	申込
10/2 (日)	12:00~13:00	サロココンサート 日本大学芸術学部学生によるコンサートです。	石神井松の風 文化公園管理棟内 多目的室	演奏: 日本大学芸術学部学生	100人	どなたでも	無料	なし
10/8 (土)	14:00~14:40	「和のくらし和のことば」展示解説 担当学芸員による分室コレクション展の解説です。	石神井公園ふるさと 文化館分室	解説: 当室学芸員	なし	どなたでも	無料	なし
10/15 (土)	14:00~15:00	絵本とあそぶ会 区立南田中図書館員によるおはなし会です。	石神井松の風 文化公園管理棟内 和室	上演: 南田中図書館員	30人	幼児~小学生	無料	なし
10/16 (日)	14:00~15:30	俳句愛蔵作の巻と講義、俳句のおはなし 分室コレクション展関連イベントです。	石神井松の風 文化公園管理棟内 多目的室	選・講師: 今村たかし	100人	どなたでも	無料	なし
10/22 (土)	A 回13:30~15:00 B 回15:30~17:00	レコードコンサート 五味康祐遺品のオーティオによるコンサートです。	石神井公園ふるさと 文化館分室	解説: 金子学 (ペーレンプラッタチ代表)	各回20人	中学生以上	500円 当日払い	10/8(土)★1
10/29 (土)	14:00~14:30	サポーターによるギャラリートーク 松本清張(作家)の解説です。	石神井公園ふるさと 文化館分室	解説: 赤迫齊進 (分室サポーター)	なし	どなたでも	無料	なし
11/4 (金)	13:00~14:00	サポーターによるギャラリートーク 石神井ホテル跡地についてのトークと敷設です。	石神井松の風 文化公園管理棟内 和室、および 周辺地域	解説: 葛城明彦 (分室サポーター)	20人	どなたでも	無料	なし
11/5 (土)	12:00~13:00	蓄音機コンサートの 当館所蔵の蓄音器によるコンサートです。	石神井松の風 文化公園管理棟内 多目的室	解説: 当室オーディオ 担当職員	100人	どなたでも	無料	なし
11/13 (日)	12:00~13:00	サロココンサート 武蔵野音楽大学の学生によるコンサートです。	石神井松の風 文化公園管理棟内 多目的室	演奏: 武蔵野音楽大学学生	100人	どなたでも	無料	なし
11/15(火) 11/18(金)	13:30~16:00	「柳生家ゆかりの寺を訪ねる」 柳生家の墓所がある名刹・広徳寺の見学ツアーです。	練馬文化センター 一広徳寺	講師: 当室学芸員	20人	中学生以上 1時間以上 歩ける方	100円 当日払い	11/4(金)★2
11/20 (日)	14:00~14:40	「柳生もの系譜」展示解説 担当学芸員による分室コレクション展の解説です。	石神井公園ふるさと 文化館分室	解説: 当室学芸員	なし	どなたでも	無料	なし
11/20 (日)	15:00~15:40	サポーターによるギャラリートーク 伊藤桂一(作家)の解説です。	石神井公園ふるさと 文化館分室	解説: 寺尾一樹 (分室サポーター)	なし	どなたでも	無料	なし
11/23 (水・祝)	14:00~14:30	サポーターによるギャラリートーク 和辻哲郎(哲学者)の解説です。	石神井公園ふるさと 文化館分室	解説: 横田胤麿 (分室サポーター)	なし	どなたでも	無料	なし
11/26 (土)	A 回13:30~15:00 B 回15:30~17:00	レコードコンサート 五味康祐遺品のオーティオによるコンサートです。	石神井公園ふるさと 文化館分室	解説: 当室オーディオ 担当職員	各回20人	中学生以上	300円 当日払い	11/12(土)★3
11/27 (日)	14:00~15:30	講座「和」を学ぶシリーズ第3回 「茶掛置入門一茶室で愛でられた名作を読む」	石神井松の風 文化公園管理棟内 多目的室	講師: 名尾取明 (五高美術部副部長)	100人	中学生以上	無料	11/15(火)★4

★1~4の方法については裏面(2面)をご覧ください。

「絵本とあそぶ会」

当室では年3回、練馬区立南田中図書館との連携による「絵本とあそぶ会」を開催しています。内容は図書館司書による約1時間のおはなし会で、絵本のおみきかせ、紙芝居、手あそび、スライド紙芝居と、もりだくさんです。その中から、スライド紙芝居について少し触れたいと思います。スライド紙芝居というのは、その名の通りスライド映写機による紙芝居のことです。写真フィルムをカシヤツと差し込み、映像が映し出される様子になつ



絵本のおみきかせの様子

かしさを感じる人も多いのではないのでしょうか。また、セリフの部分についてはソノシート(レコード)に録音されたものを再生します。子ども時代に想いを馳せる大人に対し、子どもたちは初めて見るスライド映写機やソノシートに興味津々。イベント終了後にも子どもたちが群がり、スライド映写機体験が始まります。「なんで逆さまなの!？」と、毎回子どもたちは目をキラキラさせながらあそんでいます。次回の絵本とあそぶ会は10月15日(土)です。ぜひお越しください。



スライド映写機体験中

公園の四季 ~紅葉~

公園の樹木たちが、少しずつ冬の準備を始める季節となりました。分室の建物を囲む木々には、イチョウやイロハモミジなどがありますが、緑色の葉がなぜ秋に赤や黄に変化するのかご存知でしょうか。

もともと葉には緑のクロロフィルと黄のカロチノイドという色素が含まれており、秋になると光合成をつかさどるクロロフィルが気温の低下とともに活動を停止し分解するようになります。その結果、カロチノイドが目立つようになる樹木の葉は黄色に変化し、葉の中に留まった糖分の濃度が上昇し、アントシアニンという赤の色素が多くなる樹木の葉は紅く染まるのだそうです。越冬のために葉の色を変え、そして落として身を守るという、樹木が環境に適応して生きるワンシーン

を私たちは楽しんでいるのです。

身近な場所にある樹木の変化を追うのも、紅葉の楽しみ方のひとつかもしれません。季節のうつろいとともに、美しい色彩を公園でお楽しみください。



公園内の紅葉

五味オーディオ通信

スピーカー・システムの話

故五味康祐氏の遺されたオーディオ機器のスピーカー・システムの話です。五味さんのオーディオ遺産のなかに正体不明のスピーカー・システムがありました。一見アメリカ製のスピーカー・システムに見えますが、細部を見ると微妙に違います。スピーカー・ボックスを開けてみると、中にはイギリス、タンノイ社の古いスピーカー・ユニットが装着されていました。

オーディオ・ブームの全盛期(1970年代)には、各メーカーがそれぞれ工夫を凝らしたスピーカー・システムを開発し、音の良さを謳い競い合っており、マニアはそれを購入し、アンプ、プレーヤーと組み合わせ音楽を楽しみましたが、それ以前は、スピーカー・システムはメーカー製のスピーカー・ユニットを購入し、ボックス(箱)を自作するか、既成のボックスを購入し、自分で装着して楽しんでいました。

この正体不明のスピーカー・システムも、五味さんが使っていないスピーカー・ユニットを再利用して作ったものと思われま

す。五味さんの書かれたものを読んでいくと、タンノイ製のユニットを買ってスピーカー・システムを作ったことが書かれていますし、1台では低音が出ないのでもう1台買って2台で音を楽しんだことが書かれています。(モノラルの時代)

その後ステレオ時代になり、ドイツのテレフンケンやタンノイ社のオートグラフを購入したため、余った2台のスピーカー・ユニットを利用して、スピーカー・ボックスを特注し、ユニットを装着して楽しめたものと思われま

す。区が受け入れた当初は音は出ない状態でしたが修復が完了し、現在は音を出すことによるメンテナンスを行っています。毎週火曜日と木曜日には必ず音を出していますので、一度お聴きになっていただければと思います。



五味式メトロゴン

今月の作品

『はなをくんくん』

ルース・クラウスぶん マーク・シーモントえ きじまはじめやく

福音館書店 1967年

練馬区ゆかりの詩人・木島始(1928~2004)の翻訳による絵本『はなをくんくん』。アメリカのルース・クラウスの作品です。冬眠から覚めた、のねずみやくま、かたつむり、りす、やまねずみたちが、「はなをくんくん」とさせながら見つけたものは、なんでしょうか。短い本文のなかでくりかえされることばあそびが、楽しくもあり温かくもある、とてもかわいらしい作品です。現在、当室でも絶賛販売中です。ぜひご覧になってください。



次回・展覧会

「田沼武能肖像写真展 時代を刻んだ貌」

平成29年2月23日(木)~4月9日(日)

田沼武能(1929~)は、『芸術新潮』『小説現代』など多くの出版物のための撮影をしたほか、長年わたり海外の子どもたちの姿の取材を続ける現役の写真家です。

本展ではとりわけ田沼氏の撮影した練馬区にゆかりのある作家、五味康祐、檀一雄、松本清張らの肖像写真をご紹介します。なお本展は、練馬区立美術館との同時開催となります。

【発行・お問い合わせ】

練馬区立 石神井公園 ふるさと文化館 分室

公益財団法人練馬区文化振興協会

〒177-0045 練馬区石神井台1-33-44 石神井松の風文化公園管理棟内
Tel:03-5372-2572 Fax:050-3352-2983

アクセス

- ◆西武池袋線石神井公園駅(東京メトロ有楽町線、副都心線直通有)
 - ・西口から徒歩15分(富士街道沿い)
 - ・北口から西武バス「吉祥寺駅行き」約5分、「石神井郵便局」下車徒歩約1分
- ◆西武新宿線上石神井駅
 - ・北口から西武バス「成増町行き」約10分、「石神井郵便局」下車徒歩約1分

